

ダム関係 専門用語と解説集

- 本専門用語と解説集は、「利賀ダム建設事業の再評価」の資料等で用いている専門用語について、その意味をできるだけわかりやすい表現で解説を記載したものです。
- よりわかりやすい専門用語と解説集を目指すため、今後必要に応じ修正、追加等を行う場合があります。

令和8年7月27日

北陸地方整備局
富山河川国道事務所
利賀ダム工事事務所

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	貯水池	ちよすいち	ダムなどによって河川の水をせき止めて、人工的に水を貯めている場所のことです。
ダム一般	重力式コンクリートダム	じゅうりよくしきこんく りーとだむ	貯水池からの水圧をダムの重量で支える形式のダム。コンクリートダムとしては最も一般的なものです。
ダム一般	堤頂標高	ていちょうひょうこう	ダムや堤防の一番上(堤頂)の高さを標高で表したものです。
ダム一般	堤高・ダム高	ていこう・だむだか	ダムの基礎地盤から一番上(堤頂)までの高さのことです。
ダム一般	堤頂長	ていちょうちょう	ダムの一番上(堤頂)の長さです。
ダム一般	堤体積	ていたいせき	ダム本体(堤体)を造るために必要な体積のことです
ダム一般	サーチャージ水位 (SWL)・洪水時最高水位	さーちゃーじすい い・こうずい さいこうすい い	洪水時、一時的に貯水池に貯めることが出来る最高の水位です。
ダム一般	湛水面積	たんすいめんせき	ダムの貯水池にサーチャージ水位まで水が貯まったとき、その水面の面積をいいます。
ダム一般	設計最高水位	せつけいさいこうすい い	ダムや堤防などの設計を行う際に想定する、最も高い水位のことです。
ダム一般	平常時最高水位 (NWL)・常時満水位	へいじょうじさい こうすい い・じょうじまん すい い	ダムの目的の一つである利水目的(水道、かんがい、工業用水など)に使用するために、貯水池に貯めることが出来る最高水位です。

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	最低水位(LWL)	さいていすい	貯水池の運用計画上の最低の水位です。
ダム一般	総貯水容量	そうちよすいようりょう	堆砂容量、死水容量、利水容量、洪水調節容量を全部合計したものです。
ダム一般	有効貯水容量	ゆうこうちよすいようりょう	ダムの総貯水容量から堆砂容量と死水容量を除いた容量です。
ダム一般	堆砂容量	たいしゃようりょう	一定期間(一般には100年間)にダム貯水池に堆積すると予想される流入土砂を貯える容量です。
ダム一般	洪水調節容量	こうずいちようせつようりょう	常時満水位からサーチャージ水位までの容量です。
ダム一般	工業用水容量	こうぎょうようすいようりょう	ダムに貯めた水のうち、工場や事業所で使用するために確保されている貯水容量のことです。
ダム一般	利水容量	りすいようりょう	ダムに貯めた水のうち、人が利用するために確保されている貯水容量のことです。
ダム一般	基礎地盤	きそじばん	ダムの重さを支える土台となる地盤です。
ダム一般	洪水調節計画	こうずいちようせつけいかく	洪水による被害を防ぐために、ダムや遊水地などを利用して洪水の一部を一時的に貯留し、下流へ流れる水量を安全な範囲まで減らす計画のことです。
ダム一般	貯水池斜面(法面)対策	ちよすいちしゃめん(のりめん)たいさく	貯水池の周囲にある斜面(法面)が崩壊しないように行う対策のことです。

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	緊急水位低下設備	きんきゅうすいいていかせつび	地震やダムの異常などの緊急時に、貯水池の水位を速やかに下げるための設備です。
ダム一般	利水放流設備	りすいほうりゅうせつび	上水道、工業用水、農業用水、河川維持用水などのために、必要な量の水をダムから下流へ放流する設備のことです。
ダム一般	発電補償放流設備	はつでんほしょうほうりゅうせつび	ダムの建設によって既存の水力発電所で利用できる水量が減る場合に、その減少分を補うために放流する設備のことです。
ダム一般	事前放流設備	じぜんほうりゅうせつび	大雨が予想される前に、ダムの水をあらかじめ放流して貯水池に空き容量を確保するための設備です。
ダム一般	転流工	てんりゅうこう	ダムを建設している間だけ、川の水を工事現場の外へ迂回させるための仮設工事のことです。
ダム一般	ダム本体基礎掘削	だむほんたい きそくつさく	ダム本体を建設する前に、ダムの基礎となる丈夫な岩盤が現れるまで地盤を掘削する工事のことです。
ダム一般	ダム本体堤体工	だむほんたい ていたいこう	ダム本体(堤体)を実際に築造する工事のことです。
ダム一般	ダム本体基礎処理	だむほんたい きそしょり	ダム本体を安全に支えるために、基礎となる岩盤を補強し、漏水を防ぎ、安定性を高める工事のことです。
ダム一般	排水トンネル	はいすいとんねる	ダムや貯水池、山腹などにたまる水や地下水を安全に排水するために設けられるトンネルです。
ダム一般	一般補償	いっぱんほしょう	ダム建設のために土地を取得したり、土地を使用したりすることで発生する一般的な損失に対する補償です。

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	特殊補償	とくしゅほしょう	通常の公共事業ではあまり発生しない、ダム事業特有の権利や生活への影響に対する補償です。(発電所補償、漁業権補償など)
ダム一般	試験湛水	しけんたんすい	完成したダムに実際に水を貯めて、ダム本体や周辺地盤、設備が安全に機能するかを確認する試験のことです。
ダム一般	RCD工法	あーるしーでいーこうほう	ダム堤体を造るためのコンクリート施工方法の一つで、超硬練りコンクリートをブルドーザーで敷き均し、振動ローラーで締め固める工法です。
ダム一般	拡張レヤ工法	かくちょうれやこうほう	コンクリートダムの堤体を施工する際に、1回あたりのコンクリート打設高さ(レヤ厚)を大きくして、施工効率を高める工法です。
ダム一般	先行打設ブロック	せんこうだせつぶろっく	コンクリートダムの堤体工事において、周囲のブロックより先にコンクリートを打設して施工する区画(ブロック)のことです。
ダム一般	骨材貯蔵ビン	こつざいちょぞうびん	コンクリートを製造するための材料である骨材(砂・砂利・碎石など)を種類や粒径ごとに分けて貯蔵しておく設備のことです。
ダム一般	骨材製造設備	こつざいせいぞうせつび	ダムなどで使用するコンクリート用の骨材(砂・砂利・碎石)を、必要な大きさ・品質に加工して製造する設備のことです。
ダム一般	一次破碎設備	いちじはさいせつび	骨材製造設備の中で、採取した大きな岩(原石)を最初に大きく砕くための設備です。
ダム一般	製砂設備	せいさせつび	コンクリートに使用する細骨材(砂)を、岩石や碎石から人工的に製造する設備のことです。
ダム一般	原砂パイル	げんさぱいる	コンクリート用骨材として使用する前の砂(原砂)を一時的に貯蔵しておく砂の山の置き場所のことです。

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	骨材貯蔵設備	こつざいちょぞうせつび	コンクリート製造に使用する骨材(砂・碎石)を、種類や粒径ごとに分けて保管し、必要な時にコンクリート製造設備へ供給するための設備です。
ダム一般	篩分設備	ふるいわけせつび	骨材製造工程で、砕いた岩石を粒の大きさ(粒径)ごとに分けるための設備です。
ダム一般	パイロット道路	ぱいろっとどうろ	ダム建設などの大規模土木工事において、本格的な道路(工事用道路や付替道路)を造る前に、施工や地形・地質を確認するために先行して造る仮設道路のことです。
ダム一般	河床進入工区	かしょうしんにゆうこうく	ダム設工事などで、河川の流れている河床(川底)部分へ施工範囲が入り込む区域(工事区間)のことです。
ダム一般	維持流量	いじりゅうりょう	河川の正常な機能を維持するために、ダムなどから下流へ常に流しておく必要がある最低限の流量のことです。
ダム一般	減勢工	げんせいこう	ダムなどの放流設備から高速で流れ出る水の勢い(エネルギー)を弱め、下流の河床や構造物を保護するための施設です。
ダム一般	ダム軸	だむじく	ダム堤体の中心となる基準線(軸線)のことです。
ダム一般	監査歩廊	かんさほろう	ダム堤体の内部や内部に沿って設けられた点検・管理用の通路のことです。
ダム一般	ダムサイト	だむさいと	ダム本体を建設する場所(ダム建設地点)のことです。
ダム一般	貯水率	ちょすいりつ	ダムや貯水池に現在どれだけの水が貯まっているかを、利用できる水の量(容量)に対する割合で示したものです。

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	基本計画	きほんけいかく	事業を進めるための基本的な方針や目標、施設の規模、整備内容などを定める計画のことです。
ダム一般	自然調節方式	しぜんちょうせつほうしき	洪水時にダムの放流量をゲート操作などで人為的に調整するのではなく、ダム の構造（放流口の大きさなど）によって自然に流出量を抑える方式のことです。
ダム一般	貯水池容量配分	ちよすいちようりょうはいぶん	ダムの貯水池に貯められる水の量（容量）を、目的ごとに区分して配分することです。
ダム一般	基礎地盤高	きそじばんだか	ダムや構造物を支える基礎となる地盤（岩盤）の高さ（標高）のことです。
ダム一般	洪水調節図	こうずいちようせつず	洪水時にダムへ流れ込む水量（流入量）と、ダムから下流へ放流する水量（放流量）の関係を時間の経過で表した図です。
ダム一般	特定多目的ダム法	とくていたもくてきだむほう	国が建設する多目的ダムについて、計画・建設・管理などの基本的な仕組みを定めた法律です。
ダム一般	建設負担率	けんせつふたんりつ	ダムなどの公共施設を建設する費用を、関係する事業者や自治体がどの割合で負担するかを示す比率のことです。
ダム一般	調査横坑	ちょうさおうこう	ダムやトンネルなどの建設予定地の地下や岩盤の状態を調べるために掘削する、横方向の調査用坑道のことです。
ダム一般	横坑内型枠	おうこうないかたわく	調査や施工のために掘削した横坑（横方向の坑道）の内部に、コンクリートなどを打設するために設置する型枠のことです。
ダム一般	充填管	じゅうてんかん	コンクリートやモルタル、グラウト材などの充填材料を、目的の場所へ送り込むために設置する管（パイプ）のことです。

ダム関係専門用語と解説集(ダム一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
ダム一般	ダム本体工事用電源	だむほんたいこうじよう でんげん	ダム本体(堤体)を建設する工事で使用する電力を供給するための設備や電力計画のことです。
ダム一般	水理模型実験	すいりもけいじっけん	河川やダムなどの水の流れを、小さな模型(縮尺模型)で再現し、水の動きや施設の性能を確認する実験のことです。
ダム一般	二次減勢工	にじげんせいこう	ダムから放流された水の勢い(エネルギー)を、さらに弱めて下流河川へ安全に流すための施設です。
ダム一般	流木処理ヤード	りゅうぼくしよりやード	洪水や土石流などで流れ着いた流木を一時的に集め、分別・処理するための作業用の場所のことです。
ダム一般	集塵船	しゅうじんせん	ダム湖や河川などの水面に浮かんだごみ・流木・浮遊物を回収するための作業船のことです。
ダム一般	係船設備(インクライン)	けいせんせつび(いんく らいん)	ダム湖などで船を陸上へ引き上げたり、水面へ降ろしたりするための設備のことです。
ダム一般	音達試験	おんたつしけん	放流警報設備やサイレンなどの音が、決められた範囲まで確実に届くかを確認する試験のことです。
ダム一般	指向性型サイレン	しこうせいがたさいれ ん	音を特定の方向へ強く伝えることができるサイレンのことです。

ダム関係専門用語と解説集(土木一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
土木一般	クリティカルパス	くりていかるぱす	プロジェクト全体の完了時期を決めている最長の作業経路であり、最優先で管理すべき工程の連なりを指します。
土木一般	排土工	はいどころ	掘削工事で発生した土砂や岩石を運び出し、所定の場所へ処分または有効利用する工事のことです。
土木一般	アンカー工	あんかーこう	鋼製のアンカー(鋼棒やPC鋼より線)を地盤や岩盤の奥まで固定し、斜面や構造物を安定させる工法です。
土木一般	鋼管杭工	こうかんぐいこう	鋼(鉄)でできた円筒状の杭(鋼管杭)を地盤に打ち込んだり埋設したりして、構造物を支える基礎をつくる工事です。
土木一般	コンクリート打設	こんくリーとだせつ	型枠や所定の場所にコンクリートを流し込み、締固め・仕上げを行って構造物を造る作業のことです。
土木一般	覆工	ふっこう	トンネルや地下構造物などの掘削面を覆うように、コンクリートなどで内側の壁や天井を仕上げる工事のことです。
土木一般	インバート打設	いんばーとだせつ	トンネルや地下構造物の底部(床部分)にコンクリートを打設する工事のことです。
土木一般	橋梁上部工	きょうりょうじょうぶこう	橋のうち、橋脚や橋台の上に載っていて、車両や人を直接支える部分(橋桁・床版など)を造る工事のことです。
土木一般	坑口	こうぐち	トンネルや坑道の出入口部分(入口・出口)のことです。
土木一般	ボーリングコア	ぼーりんぐこあ	地盤や岩盤を円筒状にくり抜いて採取した地質試料(岩石の柱状のサンプル)のことです。

ダム関係専門用語と解説集(土木一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
土木一般	掘削ズリ	くっさくずり	トンネルやダム基礎掘削などで岩盤・地盤を掘削した際に発生する不要な岩石や土砂(掘削残土)のことです。
土木一般	トンネル地山	とんねるじやま	トンネルを掘削する周囲に存在する自然の岩盤や土砂(掘削前の地盤)のことです。
土木一般	抑止工	よくしこう	地すべりや斜面の移動を、構造物の力によって直接止めるための対策工事のことです。
土木一般	深礎工	しんそこう	大きな直径の縦穴(深礎孔)を地中に掘り、その中に鉄筋コンクリートなどを施工して、強固な基礎杭を造る工法です。
土木一般	横ボーリング工	よこぼーりんぐこう	斜面や地すべり地内に水平方向または少し下向きにボーリング孔を掘り、地下水を排出することで斜面を安定させる工法です。
土木一般	回転切削圧入工法	かいてんせっさくあつにゆうこうほう	鋼管杭などを回転させながら先端で地盤を切削し、杭を地中へ押し込んで設置する施工方法です。
土木一般	すべり面形状	すべりめんけいじょう	地盤や斜面がすべる際に、その内部で発生する「すべり面(地盤が分離して動く境界面)」の形状のことです。
土木一般	栈橋工	さんばしこう	水上や軟弱地盤上などで作業するために、杭などで支持された作業用の足場や通路(栈橋)を造る工事のことです。
土木一般	頭部造成工	とうぶぞうせいこう	杭やアンカーなどの構造物の「頭部(上端部分)」を整形・加工し、所定の構造物と一体化できるように仕上げる工事のことです。
土木一般	現況安全率	げんきょうあんぜんりつ	現在の地盤や斜面が、すべりなどの不安定化に対してどの程度安全な状態にあるかを示す数値です。

ダム関係専門用語と解説集(土木一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
土木一般	地山分類・地山等級	じやまぶんるい・じやまとうきゅう	掘削する前の自然の地盤(地山)の状態を、施工のしやすさや安定性などによって区分することです。
土木一般	トンネル支保パターン	とんねるしほぱたーん	トンネルを掘削した後、地山を安定させるために設置する支保工(補強材)の組み合わせを、地山の状態ごとに決めた施工標準のことです。
土木一般	崖錐堆積物	がいすいたいせきぶつ	山や崖の斜面から崩れ落ちた岩石や土砂が、崖の下部に扇状・円すい状に堆積したものです。
土木一般	リニアメント	りにあめんと	地表に現れる直線状または帯状の地形・地質の特徴で、地下の断層や岩盤構造などを反映している可能性があるものです。
土木一般	ロックボルト	ろっくぼると	岩盤や地山に鋼製の棒(ボルト)を打ち込み、岩盤を補強して安定させる工法です。
土木一般	吹き付けcon	ふきつけこんくりーと	コンクリートを圧縮空気などで岩盤や地山の表面に吹き付けて施工する工法です。
土木一般	多孔式デフレクター	たこうしきでふれくたー	放流水の向きを変えたり、勢いを分散させたりするために、多数の穴(孔)を設けた板状・構造物状の流れ制御装置です。
土木一般	法枠	のりわく	斜面(法面)の表面に格子状のコンクリート枠を設置し、土砂の崩壊や浸食を防ぐ法面保護工です。
土木一般	崩積土層	ほうせきどそう	山の斜面が崩れて移動した土砂や岩のかけらが、斜面の下部などに堆積してできた地層のことです。
土木一般	間隙水圧	かんげきすいあつ	土や岩のすき間(間隙)にたまっている水が、周囲の土粒子に及ぼす圧力のことです。

ダム関係専門用語と解説集(土木一般)

カテゴリ	用語	読み方	解説
土木一般	吹付法面工	ふきつけのりめんこう	切土や盛土でできた斜面(法面)の表面に、モルタルやコンクリートを吹き付けて保護する工法です。
土木一般	鉄筋挿入工	てっきんそうにゆうこう	斜面(法面)の内部に鉄筋などの補強材を差し込み、地盤を安定させる工法です。
土木一般	施工基面	せこうきめん	工事を行うための基準となる高さ(基準面)のことです。
土木一般	透水性	とうすいせい	土や岩などが水を通しやすい性質のことです。